

研修テーマ概要

目次

1. 創造的問題解決法
2. 多文化チームワーク
3. カスタマーインサイト
4. 賢慮の思考法
5. グローバル・ウィズダム・リーダーシップ
6. 学習方法
7. 講師・創業者について
8. TDA について
9. よくある質問 (FAQs)



1. はじめに

複雑化・変化し続ける知識の世界において、唯一不変なのは、知識労働者をより良い世界へと導くために賢慮の思考的リーダーが必要であるということです。TDA アソシエイツは、「Wisdom Leadership for Global Innovation」をキャッチフレーズに、人類と地球にとって真に新しく、持続可能な価値を創造できるグローバルな思考力を育成することをミッションに設立されました。そのために、グローバル思考スキルの研修コースと、組織イノベーションチームのファシリテーション・サービスを提供しています。

研修は、グローバル思考の様々な側面をカバーする4つの個別コースに分類されています。「創造的問題解決法」、「多文化チームワーク」「カスタマーインサイト」「賢慮の思考スキル」の四講座が提供されています。マスターコースの「グローバル・ウィズダム・リーダーシップ」は、各講座の主要な要素を組み合わせ、さらにリーダーシップの主要なスキルを加えたものです。TDA アソシエイツの創設者であるヘンリー・アンダーセンは、グローバル・イノベーション・コンサルタントおよびトレーナーとしての長年の経験と、明治大学でグローバルマネジメント領域の専任教授を務めていた際の思考アプローチに関する研究に基づいて、これらのコースを開発しました。

5つの講座は、それぞれ「三部作」を内包するように構成されています。

1. 創造的問題解決法
 - スリーダイヤプロセス
2. 多文化チームワーク
 - 文化のトリプル・ズーム・フレームワーク
3. カスタマーインサイト
 - 3i フレームワーク
4. 賢慮の思考法
 - 賢慮の思考法のバランス型三脚
5. グローバル・ウィズダム・リーダーシップ
 - 3V フレームワーク

各講座の内容については、以下の通りです。

1. 創造的問題解決法



この講座は、ビジネスパーソンが仕事で直面する最も困難で複雑な問題を、自分自身で、あるいはチームを促進して、創造的に解決するためのフレームワークとツールを提供します。このプロセスは、あらゆるビジネス部門の問題解決に新鮮で斬新な解決策を展開するために利用できますが、新製品開発、イノベーション、戦略立案、社内コンサルティングなどのチームにとって特に有用です。

本講座で紹介するスリーダイヤのフレームワークは、「問題発見」「アイデア発見」「ソリューション発見」の3つのステップで構成されています。各ステップには、難題を画期的で実現可能なソリューションに変換するための、発想プロセスを支援する分かりやすい、実用的なツールが用意されています。

学習内容

- (1) スリーダイヤプロセスの概要
- (2) 創造的問題解決のためのファシリテーション・スキル
- (3) ステップ1：問題発見
 - 問題発見のガイドライン
 - アップダウン思考ツール
 - 元の問題文から考えられる結果や原因を考え、別の問題定義を見つける。
 - 問題の選択
- (4) ステップ2: アイデア発見
 - 自由なブレインストーミング
 - 幅広いアイデアのカテゴリー
 - ツール1: SCAMPER
 - SCAMPERの変形キーワードを使い、新しいアイデアを刺激する。
 - ツール2: ランダムワード
 - ランダムな名詞を使い、新しいアイデアを刺激する
 - ツール3: TDA
 - 一見無関係に見える分野の関連概念を用いて、アイデアを創出する。
 - アイデア選択
- (5) ステップ3：ソリューション発見
 - 具体的コンセプトの構築
 - 選択したアイデアをより具体的にするために、肉付けを行う。
 - PPMI (プラス、プラス、マイナス、アイデア)
 - 具体的なコンセプトを実現可能な解決策にする。
 - イノベーション・アクションプラン
- (6) 個人の実行計画

2. 多文化チームワーク

多文化チームで働くメンバーは、しばしば、異文化のメンバーの言動を理解するのに苦労します。その結果、そのメンバーに対する否定的な認識や期待が生まれ、異文化間の対立が生じ、チームの有効性が大幅に低下することがよくあります。本講座では、参加者が文化の違いを理解するだけでなく、異文化の人々とよりよく働き、この多様性の中から相乗効果を見出すのに役立つツールを練習することができます。



講座で紹介される文化のトリプルズーム・フレームワークは、参加者がグローバル、カントリー、ミクロの視点から文化を見ることができるようになります。このアプローチでは、多様な文化を理解するために、各視点レベルで使用できるさまざまなツールや研究結果を共有します。このツールは、文化の壁を越えてシナジーを発揮できる異文化間問題解決のために、適宜選択し、活用することができます。

学習内容

- (1) 文化のトリプル・ズーム・フレームワーク概要
- (2) 多文化チームワークのための DIS スキルの開発
 - Diversity 多様性の尊重
 - Inclusion インクルージョンの実践
 - Synergies/Solutions 相乗効果・解決策を生み出す
- (3) 多文化チームワークとファシリテーションのガイドライン
- (4) グローバル・ズーム：文化の次元の統合
 - ホフステードの文化の 6 次元モデル
 - トロンペナーの 7 次元

- エリン・メイヤーのカルチャーマップ
 - GLOBE プロジェクトの文化の次元
 - 文化の統合次元による異文化間問題解決フレームワーク
- (5) カントリー・ズーム：国のコアバリューとライフスタイル
- Cultural Detective シリーズ
 - Culture Smart シリーズ
 - カントリーコア・バリューを用いた異文化間問題解決フレームワーク
- (6) ミクロのズーム：個々の文化現象を理解する
- より深い文化理解の必要性
 - TCI（トランスカルチュラル・インサイト）メソッドによる深い文化的コードクラッキング
- (7) 個人的な行動計画

3. カスタマーインサイト

顧客や消費者が潜在的に望んでいることを十分に理解しないまま新製品や新事業が立ち上げられ、結果的に市場で失敗することがよくあります。カスタマーインサイトとは、



新しい製品やサービスを開発する前に、まず顧客が何を望んでいるかを発見するプロセスです。本講座で使用する 3i（スリーアイ）のステップ（イシュー、インフォメーション、インサイト）は、デザイン思考プロセスのフロントエンドに焦点を当て、リサーチトピックから始まり、新しい顧客インサイトを開発するためのプロセスとなります。

このプロセスでは、常にオープンマインドで、お客様の意外な、業界の常識に反するような奇妙な言動、つまり、私たちが無視しがちな情報に深く耳を傾けることです。そして、これらの情報を、理解しやすいように「解読」し、新たな商品・ビジネス・戦略開発の基礎となる、これまで発見されなかった新規顧客ニーズを表す有用なインサイトに統合していきます。

学習内容

- (1) 3i フレームワークの概要
- (2) カスタマーインサイトの開発およびファシリテーションのためのガイドライン
- (3) Issue イシュー (課題)
 - 顧客の課題
 - 市場のトピック
 - 未来分野
- (4) Information インフォメーション (情報)
 - 既存データのマイニング
 - エスノグラフィー
 - コラージュやその他の投影技法
 - グループインタビュー、1対1のデプスインタビュー
- (5) Insight インサイト (洞察)
 - 予期せぬ情報の収集
 - コードクラッキング技法
 - 未知のインサイト合成
 - 新しいインサイトの提示
- (6) 個人の行動計画

4. 賢慮の思考法

組織で働く人々が管理職になればなるほど、専門知識の重要性は低下し、知識労働者を導くための知恵と叡智の重要性が増してきます。本講座では、人類と地球の共通善に基づき、より望ましい持続可能な未来に向けて、自分自身・チーム・組織をリードする必要がある人たちのために、より賢慮な思考へのアプローチを共有します。



この講座では、創造的思考、批判的思考、規範的思考の3つのカテゴリーに分類された思考スキルである「賢慮の思考のバランス型三脚」を紹介します。これらは、組織が問題解決や戦略策定、イノベーションを起こす際に活用することができます。また、弊社創業者が開発したTDA（Transdisciplinary Analogy 学祭類比法）というメソドロジーは、創造的思考法と同時に叡智開発ツールとして紹介されています。この講座の目的は、問題解決とイノベーションの両方の目的のために、人間が活躍するあらゆる分野の概念を理解・活用し、他のどの分野にでも適用できる「プロのゼネラリスト」としてのメンタリティと能力を身につけることです。

学習内容

(1) 賢慮の思考法の目的

(2) 叡智の概要

- 思考スタイルとグローバルな差異
- 叡智関連の研究概要
- 実践知と叡智

(3) 賢慮の思考法のバランス型三脚

- 創造的思考への取り組み
(何ができるか?)
チェックリスト、フォースフィット、アナロジー等
- 批判的思考への取り組み
(どのようにして選択肢を改善できるか?)
ロジックツリー、PPMI、評価マトリクス等
- 規範的思考への取り組み
(何をすべきか?)
内部思考：ミッション、ビジョン、戦略的整合性
外部思考：共通善、社会的責任、持続可能性、倫理観

(4) 自己の叡智を養成する

- プロのゼネラリストとして自己を成長させる

(5) チームと組織の叡智を促進・集約する

- チーフ・フィロソフィカル・オフィサーの役割

5. グローバル・ウィズダム・リーダーシップ

複雑で変化の激しい今日の世界では、グローバルマネジャーは、賢明な思考力、意思決定力、リーダーシップに加え、多文化への配慮も必要とされています。このマスターコースは、他のすべての個別コース（創造的問題解決、多文化共生チームワーク、顧客洞察力、賢明な思考力）の主要な要素を、顧客のニーズに合わせてカスタマイズして組み合わせたものです。



コース内容は、グローバル・ウィズダム・リーダーシップの3Vのフレームワークに従っています。このコースは、グローバルウィズダムリーダーシップの3V

（学際的視点、多文化的価値観、ビジョンに基づくリーダーシップ）の枠組みに沿っています。このコースでは、人類と地球の共通善に基づき、より望ましい持続可能な未来に向けて、自分自身、チーム、組織をリードするための重要なスキルを実践していきます。

学習内容

- (1) グローバル・ウィズダム・リーダーの概要
- (2) グローバル：多文化価値観
 - 異文化で働くことの難しさを理解する
 - 多文化共生マインドセット
 - 他国と仕事をするためのメリットと課題
- (3) カルチャラル・トリプル・ズーム・フレームワーク
 - グローバル・ズーム：文化的側面
 - カントリー・ズーム：文化の中核的価値観と生活様式
 - ミクロ・ズーム：個々の文化的現象の理解

(4) ウィズダム（叡智）：学祭的思考

賢慮の思考法のバランス型三脚

- 創造的思考への取り組み
- 批判的思考への取り組み
- 規範的思考への取り組み

創造的問題解決法のスリーダイヤプロセス

- 問題発見
- アイデア発見
- ソリューション発見

(5) リーダーシップ：ビジョンと動機づけ

ウィズダム・リーダーのマインドセットとスキル

- ERS から始める：ethics 倫理、responsibility 責任、sustainability 持続可能性
- 東洋と西洋の融合：賢慮のグローバルリーダーの融合的対人関係能力
- チーフ・フィロソフィー・オフィサーの役割

より良い未来に向けたチームのビジョンと動機づけ

- 経営理念、ビジョン、ウェイ：チームへのカスケードダウン
- 人類と地球の共通善のため、真の新しい価値の創造
- アイデアの実行に移すためにチームを活性化

(6) 個人の行動計画

6. 学習方法

- 本講座は、組織のニーズに合わせて、対面式、オンラインライブ、ハイブリッド、オンデマンドのビデオ形式で、内容やスケジュールをカスタマイズして提供することができます。
- 特定の分野やスキルに優先順位をつけたり、より深く掘り下げるために講座内容を追加・変更することも可能です。
- 講座全体を通して、講師は各ツールの分かりやすい例と、これらのツールを使ってチームを促進する方法について十分なヒントを提供します。

- 本講座では、紹介されたツールを使って、実際の問題やミニケーススタディをグループで徹底的に演習し、講師や他参加者からのフィードバックも豊富に提供されます。
- 講座は、英語、日本語、ポルトガル語のいずれかで実施されます。
- ライブのオンライン講座やハイブリッド講座では、Miro オンライン・ホワイトボード・プラットフォームを、Zoom（またはお客様が指定した他のビデオ会議プラットフォーム）と組み合わせて、カスタムテンプレートで使用します。

7. 講師・TDA 創立者について

ヘンリー・アンダーセンは、明治大学専門職大学院グローバルビジネス研究科の元専任教授で、グローバルマネジメントを担当していました。現在は、米国にある自身の会社 TDA Associates で、創造的問題解決法、多文化チームワーク、カスタマーインサイト、賢慮の思考スキル、グローバル・ウイズダム・リーダーシップの講座を教えています。

コンサルタントとして、コカ・コーラ、ユニリーバ、ネスレ、フィリップス、ファイザー、米海軍、マツダ、三菱、東芝、キリン、住友といった4大陸で企業のカスタマーインサイトとイノベーション能力の構築を支援してきました。

大学やコンサルティングの前は、ソニー・ピクチャーズ、三菱重工業、スコット・ペーパー（現在はキンバリー・クラークの一部）などの企業で、米国、日本、ブラジル、英国、オランダを拠点に、国際マーケティング、戦略、イノベーションの担当役員として活躍しました。

ハーバード大学で日本文学の学士号、コロンビア大学でジャーナリズムの修士号、フランスの INSEAD でマーケティングの MBA を取得しています。

アンダーセンは、三菱重工に勤務していた時に、技術的な課題とマーケティング上の課題の両方を解決するために、「トランスディシプリナリー・アナロジー（TDA）」という独自の創造的思考法・叡智養成法を開発しました。彼の方法論は、国際的なビジネス



誌や学術誌で紹介され、6カ国語以上で出版された創造性とイノベーションに関する多くの書籍に掲載されています。

8. TDA について

TDA アソシエイツのミッション

TDA アソシエイツは、世界中の組織と個人がグローバル・ウイズダム・リーダーシップを身につけ、人類と地球の共通善のために真の新しい価値を創造できるよう支援しています。

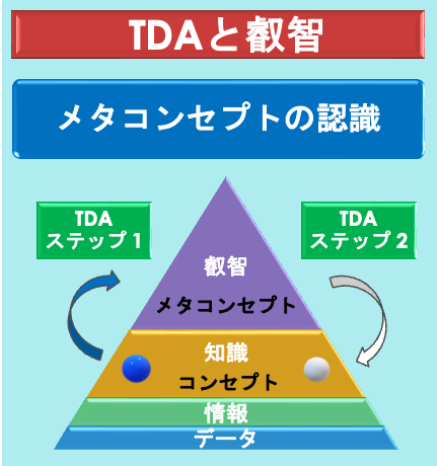


創造技法の TDA

TDA アソシエイツ創立者のヘンリーアンダーセンは、1990年代初頭三菱重工に勤務していたとき、創造的問題解決法の学際的なアプローチを開発し、仕事に応用する機会を得て、これを「Transdisciplinary Analogy (TDA) =学祭類比法」と名付けた。TDAとは、「どんな分野の概念でも、他の離れた、関係なさそうな分野の問題解決に応用できる」という考え方である。

TDA と叡智

TDA は、繰り返し習慣的に使用することで、あらゆる専門分野に存在する「メタコンセプト」、つまり中核的共通概念、を見抜く能力も養うことができる。これを見抜く力は、個人の叡智と賢慮のリーダーシップスキルを身につけるための第一歩となる。



異文化の TCI

また、海外の文化や価値観、ライフスタイルを深く理解するための「Transcultural Insight (TCI) = 異文化洞察法」という手法も開発した。



グローバル・ウイズダム・リーダーシップの3V

- 1.学際的な視点:** 問題解決のために、ある分野の概念を他の分野にも応用できる賢慮の思考力（TDAを活用できる）。
- 2.多文化の価値観:** 異文化の価値観を理解し、感じ、真のグローバルな解決策を導き出す力（TCIを活用ができる）。
- 3.ビジョンに向かってリード:** チームや関係者のモチベーションを高め、叡智を集約し、組織のミッションと整合させるリーダーシップのスキル。

9. FAQ (よくある質問)

TDA アソシエーツは他社とどう違うのですか？

- TDA アソシエーツは、フォーチュン 500 社の企業を対象に、20 年以上の実績を持つ企業内研修会社です。創立者のヘンリー・アンダーセンは 2019 年までは明治大学専門職大学院グローバルビジネス研究科の専任教授で、その前は 20 年にわたってグローバルマーケティングの管理職者として勤務してきています。講座のすべてのコンテンツを自ら開発・提供します。
- すべての講座は、他では提供されていないユニークな内容やアプローチを特徴としています。

- 他社では、思考力・問題解決力、異文化対応力のどちらかの研修はあっても、両方の研修を提供することはありません。TDA は、多文化チームにおける思考力、問題解決力、リーダーシップの育成に重点を置いている点でユニークです。
- 研修内容や学習アクティビティは、お客様のニーズに合わせて完全にカスタマイズすることができます。
- 講座は、英語、日本語、ポルトガル語で実施可能です。
- 講師は通常、国際的な聴衆を対象として講座を提供しますので、英語を母国語としない方にもわかりやすい英語となっています。

創造的問題解決法は、デザイン思考とどのように違うのですか？

- 創造的問題解決（CPS）は、1960年代からある、より一般的な問題解決プロセスで、TDA アソシエーツのスリーダイヤモンド・プロセスは、すべてのステップを網羅し、使いやすくなっています。CPS は、あらゆる種類の組織の問題や課題に対し、革新的な解決策を開発するために活用できます。
- 一方、デザイン思考（DT）は、一般的に、新しい製品、サービス、ビジネスなどのための顧客中心の解決策を見出すことに重点を置いています。
- CPS 講座の前に、カスタマーインサイト講座を追加することで、DT と同等の内容を提供することができます。

多文化チームワークは他社の異文化講座とどのように違うのでしょうか？

- ゲルト・ホフステード、ロバート・ホール、GLOBE プロジェクトなどが開発した文化的次元を用いた「グローバル・ズーム」と、Cultural Detective シリーズなどで開発されたコア・バリューによる「カントリー・ズーム」を組み合わせた独自の「文化トリプル・ズーム」のアプローチを提供しています。
- さらに、「マイクロズーム」と呼ぶ第3のレベルを加えて、驚くような個々の文化現象を独自のトランスカルチュラル・インサイト（TCI）手法で解読していきます。

賢慮の思考法とはどのような内容の講座なのでしょうか？

- この講座のアイデアは、もともと日本から来ました。日本では、リーダーには実践的な知恵が求められ、評価される傾向があります。社内の人や利害関係者との協力関係だけでなく、グローバル社会や環境との調和を重視する「ソーシャル・インテリジェンス」が重視されています。

- 賢慮の思考法の講座は、この実践知と、より「西洋的」な思考ツールを組み合わせ、「賢慮の思考のバランス型三脚」と呼んでいます。このアプローチでは、創造的思考、批判的思考、規範的思考のためのさまざまなツールを提供します。
- さらに TDA（学際的類推法）の手法を通じて、より西洋的な叡智を開発するための独自のフレームワークを開発しました。このプロセスにより、「メタコンセプト」と呼ぶ、あらゆる専門分野にまたがる中核的な共有概念が認識でき、それを内面化することによって、個人の叡智の土台が作れます。
- グローバル・ウィズダム・リーダーシップ・講座にも、賢慮の思考のバランス型三脚のスキルが含まれています。

お問い合わせ:

ヘンリー・アンダーセン

TDA アソシエイツ創業者

メール: henry.andersen@tdaassociates.com

電話: +1-949-353-9947

ウェブサイト: <https://tdaassociates.com>